

新庁舎建設基本計画等における広場の活用

1 小金井市新庁舎建設基本計画における広場の記載について

| 頁 | 項目 | 備考 |
|--|--|--------------|
| 10 | 広場空間の確保 | |
| | 緊急車両の駐車場や物資の集結場所など様々な用途に使えるように、敷地内に広場空間を確保します。 | |
| | 広場等の外部空間には、仮設トイレを設置する設備を備えます。 | 防災機能検討部会にて検討 |
| 15 | 景観への配慮 | |
| | 全面道路に面して広場空間を確保するとともに、庁舎の顔となる建物デザインとし、前面道路から明確に庁舎が認識できるようにします。 | |
| | 広場空間は、平常時はイベントスペース等として活用し、災害時には様々な用途に対応できる空間として整備します。 | 防災機能検討部会にて検討 |
| | 来庁者が、緑を楽しみながら建物に入れるようなアプローチ空間を整備します。 | |
| 28 | 広場・緑地などの配置の考え方 | |
| | 新庁舎の前庭として、緑中央通りに面して広場空間を配置します。 | |
| | 広場空間は、日常的には様々な市民の憩いの空間として利用でき、災害時には、災害対策本部が設置される庁舎施設と一体となって、多様な災害対策活動に活用できるよう配慮して整備します。なお、将来的な行政需要への対応も可能となるよう配慮します。 | 防災機能検討部会にて検討 |
| | 既存樹木をできる限り保全・活用しつつ、敷地内には小金井市のシンボルとなるよう広場空間と一体となった水と緑の豊かな緑地を配置します。 | |
| | 既存の防火水槽や非常災害用給水施設は必要に応じて敷地内で移設し、敷地内の水資源、市民の環境学習施設などとしての活用を検討します。 | 防災機能検討部会にて検討 |
| | 敷地東側の民有地や南側の住宅地との境界部については、隣地との緩衝空間となる植栽や緑地などを設けます。 | |
| | 交通動線の考え方 | |
| | 新庁舎に接続する道路は緑中央通りのみとなることから、緑中央通りから庁舎敷地に入出入りする自動車および自転車、歩行者の出入口やアプローチをわかりやすく区分し、動線が交錯しないようにします。 | |
| | 現在、新庁舎建設敷地は、敷地北東側の歩行者通路と緑中央通りをつなぐ歩行者、自転車の通り抜け空間となっており、引き続き歩行者・次点者の動線を確保します。 | |
| | 来庁者が、緑中央通りから敷地内の緑を楽しみながら新庁舎にアプローチできるよう、歩行者通路の設置を工夫します。 | |
| 29 | 駐車場などの配置の考え方 | |
| | 駐車場について、建設や維持管理にかかる費用などを抑制しつつ、敷地内のまとまった広場・緑地の確保、必要な庁舎建築面積の確保を図ることを原則とした整備方式を採用します。 | |
| | 緑中央通りに来庁者用自動車の待ち行列ができないように、敷地内に駐車待ちスペースとなるアプローチを確保します。 | |
| | 敷地へのアクセス整備の考え方 | |
| | 新庁舎の前庭として、緑中央通りに面して広場空間を配置します。整備にあわせて、新庁舎にアクセスするCoCoバスルートの整備を検討します。 | 周辺整備検討部会にて検討 |
| 緑中央通り沿いにバスベイを設けることや、新庁舎玄関口までのアプローチを導入することなどを検討します。 | 周辺整備検討部会にて検討 | |

2 新福祉会館における広場の活用の想定

※駐車場を含めたオープンスペースの活用想定

【保健センター事業】

がん検診は屋外の大型の検診車両と屋内で同時に使用する諸室との効率的な導線確保が必要となるので、建物と近接して検診車両（2台）が横付け可能な駐車場等のスペースが必要である。

現在、本庁舎駐車場で実施している献血についても、駐車場等に大型車両（2台）が近接して駐車可能なスペースが必要である。

【災害ボランティアセンター】

大災害発生時には、災害ボランティア活動の調整（問合せ対応、受付、マッチング等）を行うため、屋内の多目的室等だけでなく、必要であれば屋外広場等のオープンスペースを活用することを想定している。

【子ども家庭支援センター事業】

現在の保健センターでは、親子あそびひろば利用者が室内ひろばスペースと合わせて屋外の広場（砂場、ベンチあり）を利用されており、新施設に屋外広場等が配置されるのであれば、同じような利用を想定している。

【福祉売店等や障がい者イベント等】

天候の良い日やイベント開催時等による利用状況によっては、室内マルチスペース等だけでなく屋外広場等のスペースを活用し、福祉売店等を展開することを想定している。

3 防災機能検討部会の検討状況について

広場：ボランティアの受付、集結地

駐車場：発災時には50台から60台のスペース

マンホールトイレ：10基前後

かまどベンチ：広場内に設置

物資輸送拠点：雨風から守られた構造が必要

4 周辺整備検討部会の検討状況について

ココバスルートについては、現在、地域公共交通会議等において、ルート再編を行っている。

ココバスのバス停は利便性等を考慮すると、敷地内の設置が望ましい。

5 新庁舎・（仮称）新福祉会館複合化整備方針における広場の記載について

平常時における緑地・広場の活用イメージに加え、発災時における駐車場、広場の活用をイメージし、バランスのとれた空地活用を目指す。

6 本庁舎駐車場の利用状況について

【駐車場全面使用】

庁舎震災訓練、文書廃棄、出初式、火災予防広報

【駐車場半分程度】

胃がん肺がん検診（年40日程度）、献血（年3日程度）、職員健康診断（年8日程度）

【駐車場の一部】

狂犬病予防注射

7 庁舎建設予定地の利用状況

大型バス発着（年12回程度）、マイクロバス発着（年25回程度）

狂犬病予防注射

8 暫定広場の利用状況について

利用状況：一般利用の他、ゲートボール（新球会・毎週月曜、木曜）、自転車講習会（シルバー人材センター）、運動会（キララ保育園、グローバルキッズ、さくらなみ学童）、環境美化活動セレモニー（小金井市スカウト協議会）、もちつき大会（中町親愛会）、集会パレード（こがねいピースアクション）